

2026年度

特待入試 第3回
(思考力入試)

思考力

【注意事項】

- 1 問題は[1]から[2]までです。
- 2 時間は50分です。
- 3 下敷きおよび電算機つきの時計の使用を禁止します。
- 4 解答は、濃くはっきりと書くようにしてください。
- 5 開始の合図があるまで問題用紙を開かず、手を触れないでください。
- 6 試験中はよそ見をせず、きちんとした態度で行ってください。
- 7 何か物を落としたら、黙って手をあげてください。
- 8 他の受験生に迷惑となるような行為をしないでください。

[1] さくらさんは跡見学園中学校に入学して、初めて電車通学することになりました。同じ駅に住んでいる同級生のふじこさんとも仲良くなり、通学も楽しくなりそうです。

新学期が始まって一週間、学校への電車の中でふじこさんとおしゃべりしていると、電車が急停車し、二人はよろけて転びそうになってしまいました。すると、ある同乗者の方から「つり輪や手すりを必ずつかんでいるようにしなさい。災害や事故だってあるでしょう」と声をかけられました。ふたりは、電車内でのマナーが自分や周りの人の安全に深く関係していることを知り、「ありがとうございます」とお礼を述べました。通学時のマナーについては学校でも指導を受けていましたが、気になった二人が調べると次のようなデータを見つけることができました。

順位(前年)	迷惑行為項目	割合%(前年)
①(2)	周囲に配慮せず咳やくしゃみをする	50.5(33.5)
②(1)	座席の座り方(詰めない・足を伸ばす等)	31.9(37.1)
③(4)	騒々しい会話・はしゃぎまわり	29.2(30.3)
④(7)	強い香り(香水・洗剤・柔軟剤・化粧品等)	26.3(17.0)
⑤(3)	乗降時のマナー(扉付近で妨げる等)	23.8(31.3)
⑥(9)	酔っ払った状態での乗車	15.3(14.0)
⑦(5)	荷物の持ち方・置き方(鞆・傘等)	14.9(22.8)
⑧(8)	ゴミ・ペットボトル等の放置	14.6(15.6)
⑨(6)	スマートフォン等の使い方(歩きスマホ・混雑時の操作等)	13.4(18.2)
⑩(12)	電車の床に座る	8.8(8.3)

(日本民営鉄道協会 2024年度 駅と電車内の迷惑行為ランキング)

問1 二人はこの表から読み取ったことを次のようにまとめました。これらのうち、正しいものには○、間違っているものには×を解答らん()に記しなさい。

- ア 2023年度に最も割合が多かったのは、「座席の座り方」である。
- イ 「ゴミ・ペットボトル等の放置」は前年度より割合が減ったが、順位に変動はなかった。
- ウ 「荷物の持ち方・置き方」が減ったのは、鉄道会社のキャンペーンのためである。
- エ 順位が最も変動した項目のひとつに「スマートフォン等の使い方」がある。
- オ 割合に最も変動がないのは「ゴミ・ペットボトル等の放置」である。

問2 さくらさんとふじこさんは、このデータをもとにして、マナーと災害時の安全について考えることにしました。この中で、災害時の安全と関わる項目はどれでしょうか。2つあげて順位の番号(①・②…)で答えなさい。さらに、それぞれどのように災害時の安全と関わるのかを説明しなさい。

このデータで、1位の「咳やくしゃみ」は前年よりも17%増加しています。この理由を、新型コロナウイルスの問題が落ち着いた後、「咳やくしゃみ」を気にする人と気にしなくなった人の差が出ているのではないかとさくらさんたちは考えました。つまり、感染を気にしない人が周囲に気づかいをせずに咳やくしゃみをするようになったのを、感染を気にする人が迷惑と感じているということです。

問3 新型コロナウイルス問題が落ち着いたという理由で増加あるいは減少していると考えられる項目を1つあげて順位の番号で答えなさい。項目は、問2と同じものでもかまいません。さらに、その増加／減少と新型コロナウイルスの問題はどのように関わっているのか、説明しなさい。

さくらさんとふじこさんは電車通学なので、登下校時の災害については、スマートフォンや駅の放送によって、現在の状況に関する情報を得ることになります。けれども二人は、状況によって情報を得る方法が変わることに気づきました。そこで、地震が起こったときに、人々が最初にどのようなメディアから情報を得ているのかについて調べてみました。すると、次のようなデータが見つかりました。数字は各年代において、それぞれのメディアを使う割合(%)を示しています。

〔年代別 地震に気づいた後に最初にアクセスしたメディア〕

	テレビ放送	ニュースサイト	SNS	ラジオ放送	検索サイト(Google、Yahoo!等)	その他
20代	48.7	5.3	30.5	0.6	5.0	9.9
30代	58.5	9.5	17.3	1.4	5.1	8.2
40代	62.9	12.2	8.5	2.1	4.2	10.1
50代	72.0	8.7	4.2	1.6	4.0	9.5
60代	77.5	8.0	3.6	0.8	3.9	6.2

問4 さくらさんとふじこさんは、このデータを分析することにしました。このデータから読み取れる傾向を3つにまとめて説明しなさい。

問5 二人は、受け手がさまざまな状況下にあることに注意して情報を発信しなければならないことに気づきました。このデータをふまえて、地震について情報を発信する際に気をつけなければならないことを具体的に述べなさい。

跡見学園中学校では、防災用品が入った巾着袋^{きんちやくぶくろ}を個人ロッカーで保管し、防災用ヘルメットを机の横に準備するなど、日頃から災害に備えています。また災害時に移動する可能性もあるため、常に災害用地図を通学かばんに入れています。さくらさんのクラスでは、防災用品の使い方を具体的に考えることにしました。

問6 さくらさんたちは、巾着袋に入っているA水(500ml×2本)、B非常食、C軍手、D三角巾^{きん}について、地震が起きて教室から体育館に避難する場合の使い方を考えました。これらのものを使う可能性が高い順に並べて記号(ABCD)で示し、そのように考える理由を説明しなさい。

問7 災害用地図には図1のような記号が使われています。さくらさんは、この地図をもっと便利なものにしようと考えました。災害時に学校の外を移動する場合、どのような施設や店の場所が分かると便利でしょうか。図2を参考に考えて、図1に示されているもの以外の具体的な施設名を1つあげ、その理由を説明しなさい。

凡例	Notes	凡例	범례
○ ○	区役所・地域活動センター City Office・Community Center 区政府・地区活动中心 구청, 지역활동센터		
⊕ ⊕	消防署・消防署出張所 Fire Station・Branch Fire Station 消防署、消防署办事处 소방서, 소방서출장소		
⊗ ⊗	警察署・交番 Police Station・Koban(Police Box) 公安局・派出所 경찰서, 파출소		
⚡	救急病院 Emergency Hospital 急救医院 응급병원		
□	避難所 (区立小・中学校等) Evacuation Shelter (City Elementary and Junior High School) 避难所 (区立中小学等) 대피소 (구립 초등학교・중학교 등)		
▨	緊急避難場所 Emergency Evacuation Area 紧急避难场所 긴급 대피 장소		

図1 文京区防災地図^{はんれい}
(文京区防災地図より一部抜粋)
提供：文京区

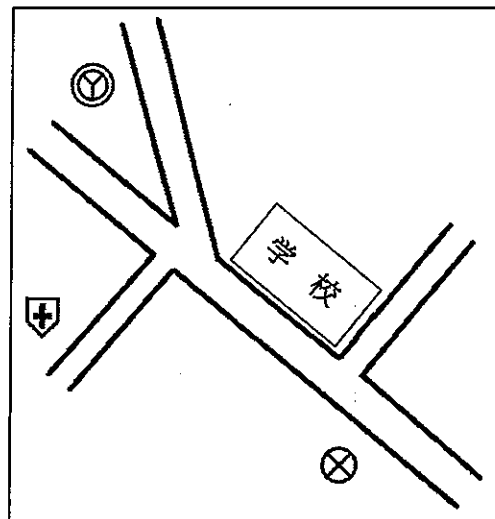


図2 災害用地図の見本

[2] さくらさんは、大きな地震の後に避難所の運営をした経験のあるアトミさんが書いた本を読んでいます。地震発生時の状況は次のようなものでした。

地震発生時刻：12月27日昼

避難所の場所：関東地方にある小学校の体育館。アトミさんは近くに住んでいた。

学校は電車の駅から徒歩で5分程度。津波の心配はなし。

被害状況：電車やバスは運休。校舎に被害はなかったが、地域内の水道・電気・ガスは止まった。地震発生時は冬休み中で、日直の先生以外は校内に誰もいなかった。

本の中でアトミさんは次のように書いています。

私は最初に避難してきたので、日直の先生とこれからどうしたらよいか相談しました。まずトイレを確認しましたが、水が止まっていて流せません。でも、先生が「外にあるマンホールを使った災害用のトイレなら使えるよ」と教えてくれました。次に手分けして懐中電灯^{かいちゅう}の準備や校内の安全確認をしました。終わった頃には避難して来た人が30人くらいに増えていました。そこでみんなで話し合い、「これからもっと人が増えるし、避難生活も長くなるだろう」と考え、全体をまとめるリーダーや、救護・連絡などの係を決めることにしました。

アトミさんは続けます。

地震の次の日、避難してきた人は100人を超えて、体育館は人と荷物でいっぱいになりました。また、避難してきた人の中には①家族連れ、②高齢者や③インフルエンザなどの伝染病にかかっている病人、④乳幼児、⑤妊娠^{にんしん}している人、⑥耳が聞こえない人、⑦外国人旅行者などさまざまな事情を抱えた人たちがいることも分かってきました。

